

### 授業概要

本授業では「経営者の倫理」を中心に講義を進めます。「経営者の倫理」はその企業で働く従業員、その企業が提供するサービスや商品を利用するお客様、その企業を様々な面から支える人々の満足や幸福、さらにはその企業の発展に留まらず社会の発展にも大きな影響を与えます。この講義では経営者の倫理観と様々なステークホルダーとのかかわりを学びます。講義では、何人かの経営者のビデオ映像やトピック等を交えながら、経営における経営者、さらにはそこで働く人々の営みや思いにも触れていきます。

### 授業計画

第1回	経営倫理学（経営者倫理）の授業の全体概要、他の授業科目との関連を説明します。
第2回	企業は誰のものか。企業を巡るステークホルダーについて理解を深めます。
第3回	経営哲学とは何か。経営者の倫理観を、経営哲学、経営者思想の側面から講義をします。
第4回	経営理念とは何か。経営者の倫理観を、第3回講義とのかかわりを踏まえ、経営理念の側面から講義をします。
第5回	経営者にとって製品・サービスとは何か。自社が提供する商品やサービスにかかわる経営者の思いについて講義します。
第6回	経営者と従業員の関係。家族主義と実力主義の対極的なアイデアから、経営者と従業員の関係について講義します。
第7回	経営者にとって株主とは何か。経営者の倫理観を、投資家、証券市場、情報開示の側面から講義を行います。
第8回	経営者は如何に会社を動かすか。リーダーシップ、マネジメント、組織、文化の視点から、経営者と組織のかかわりを講義します。
第9回	日本の経営者倫理は如何に形成されたか。近江商人の経営観、石田梅岩、渋沢栄一にみる儒教的経営観、戦後の日本的経営等に触れ、日本の経営者倫理の歴史的特徴を講義します。
第10回	事例研究（1）松下幸之助の経営観について講義し、議論します。
第11回	事例研究（2）川越胃腸病院望月智行院長の経営観について講義し、議論します。
第12回	事例研究（3）日本理化学工業大山泰弘社長の経営観について講義し、議論します。
第13回	事例研究（4）稲盛和夫の経営観について講義し、議論します。
第14回	事例研究（5）経営者の犯罪について講義し、議論します。
第15回	この授業のまとめとして講義全体を振り返り、皆さんが学んだことを議論します。
第16回	（筆記試験を行います。）

### 到達目標

皆さんが普段目にする商品やサービス以外に、経営者の市場や社会や人々に向ける思いや眼差しから企業を捉える、一つの基準を体得します。それは大学生として皆さんの就職活動における企業研究の一助にもなるでしょう。この授業が、就職活動に留まらず、皆さんがどのような社会人になりたいかを見据え考えることに役立てば、それは講師の大きな喜びです。

### 履修上の注意

- ・授業のテーマに関して学生自らの考えを積極的発表すること歓迎します。
- ・様々な経営者思想、経営者倫理に触れる上で、都度読みやすい参考図書を紹介します。
- ・就職活動や弔事による授業の欠席は可能な限り事前に提出してください。授業は出席することを前提としていますので、特別な事情による欠席については、評価上考慮します。
- ・「事例研究」のテーマは適宜新しい内容に変更することがあります。

### 予習復習

- ・予習復習は求めないが、日常的にテレビの経済番組（たとえば「がちりマンデー/TBS」）や経営者自身の著書の視聴／講読を推奨します。（必ず役に立ちます）授業でも適宜紹介します。

### 評価方法

- ・期末試験により評価する。出題は日本語で行うが、日本語以外では英語の解答を認める。
- ・正当な理由のない欠席は減点する。授業での発表は加点する。

### テキスト

- ・特に指定はしないが、参考図書は適宜紹介する。